

第48回 長崎県乾しいたけ品評会

永尾賢一さん・靖子さん夫婦(厳原町)
農林水産大臣賞を受賞



農林水産大臣賞を受賞した乾しいたけ(香信厚肉:箱物)と、永尾さん夫婦

5月17日、とよたまパールのドーム(豊玉町仁位)で、長崎県乾しいたけ品評会(長崎県しいたけ振興対策協議会主催)が開催されました。

この品評会は、生産技術の向上を目的として毎年開催されているもので、会場には市内の生産者が手塩にかけて育ててきた自慢のしいたけ210点が展示されました。

会場に詰めかけた大勢の観客は、大きく育ち丸く形のよいしいたけを感心した様子で見つめていました。

品評会最高賞の農林水産大

臣賞を受賞したのは、厳原町の永尾賢一さん・靖子さん夫婦。賢一さんはしいたけ栽培歴34年で同賞を受賞するのはなんと8回目。対馬市認定の「対馬・原木しいたけマイスター」でもあります。

賢一さんは、香りのよい対馬らしいしいたけを生産するため、袋かけを行わず露地栽培(自然の気象条件のもとで栽培すること)に徹し、こまめに散水を行うなどの工夫を行ってきたそうです。

受賞に際し、「大変嬉しく思っています。」と喜びを語り、

また、一時期体調を崩した賢一さんに代わり栽培作業を行ってきた妻の靖子さんに特に感謝していた様子でした。

【主な審査結果】(敬称略)

- 農林水産大臣賞 永尾賢一(厳原)香信厚肉箱物
- 林野庁長官賞 大石勝彦(峰)どんこグラム物/橋本敏峰(香信中肉箱物)
- 長崎県知事賞 永尾賢一(厳原)花どんこグラム物/緒方公洋(上県)どんこ箱物/木屋繁義(厳原)香信厚肉グラム物/橋本敏(峰)香信中肉グラム物
- 団体賞 1位上県、2位豊玉、3位峰、4位厳原、5位上対馬、6位美津島



展示されたしいたけを眺める来場者

ゲンカイツツジ 2万本を植樹 花の対馬ネットワークへ 感謝状を贈呈



感謝状を贈られる「花の対馬ネットワーク」の長郷美比古会員(左)と長渡稔治代表(右)

日本一のゲンカイツツジの森をつくらうと美津島町のあそうベイパークに植樹を行ってきた花の対馬ネットワーク(会員34名)に対し、市民に憩いの場を提供した功績を讃え5月21日、対馬市は感謝状を贈りました。

花の対馬ネットワークは、減りつつあるゲンカイツツジの保護と花の名所づくりを目的に、公園内の約5分の1の山林に2万本の植樹を目標として会員自ら育てた苗木を毎年数

千本ずつ植樹してきました。平成15年の活動から5年目になる今年、当初の目的だった2万本の植樹を達成。植え付けられた苗木も順調に育ち、一部の場所では既に花を咲かせ、公園を訪れる人々の目を楽ませていきます。

代表の長渡稔治さんは、「この公園が対馬に自生するゲンカイツツジの群生地となり、観光名所として多くの人々に楽しんでもらえれば」と希望を話していました。

久田小春季大運動会 子ども達が全力で競技

5月27日、巖原町の久田小学校（児童数259名）で運動会が開催されました。「感動！一人一人が全力で」をテーマとして、徒競走をはじめリレー、ダンスなどの種目が行われました。

悪天候による延期で、火曜日開催になった運動会でしたが、会場には多くの保護者らが詰めかけ、声援を送りながらカメラを手に我が子を写真に収めていました。晴天に恵まれた当日、子どもたちは元気いっぱい体を動かしていました。

写真は1・2年生による表現

「みんなのスマイル ゲットだぜ!!」



NPO法人対馬の底力 上県町の井口浜海水浴場で海岸清掃

対馬の魅力ある美しい海を取り戻そうと環境美化と保護活動を行っているNPO法人対馬の底力が5月11日、上県町の井口浜海水浴場で5回目の清掃活動を行いました。

当日はボランティアも含め総勢500人が参加。また、清掃に合わせてテレビ番組の収録も行われ、有名アイドルグループ『関ジャニ^{エイト}』の2人も軍手をはめ、清掃活動にかりました。参加者は、砂浜に打ち上げられた多くの流木やプラスチック製の容器、漁具などを回収。砂に埋もれた大きな網や流木は、参加者が力を合わせて取り除いていました。



大きな網や流木は、参加者が力を合わせて取り除いていました。

砂に埋もれた網を回収する参加者

オペラ歌手中村真紀さん 父親の出身地（一重）でコンサート開催



中村真紀さんとコンサートの様子

5月4日、上対馬町一重の南陽小学校体育館で、オペラ歌手中村真紀さんによるコンサートが開かれました。一重出身の父親の里帰りに合わせて行われたものです。

中村さんは、東京音楽大学の声楽科を卒業後ハンガリー国立音楽院で学び、現在は新国立劇場で舞台上に立っています。

コンサートでは、迫力のあるオペラ曲をはじめ「この道」「待ちぼうけ」などおなじみの童謡を歌いました。会場には地元の人たちを中心に約200名が集まり、美しい歌声に耳を傾けました。

コンサートを終えて真紀さんは「父はいい町で育ったんだなあと思いました。すごく暖かいコンサートになり感激です」と話していました。



前人権擁護委員
古藤朋子さん（上対馬舟志）へ感謝状

平成11年1月から9年3ヶ月にわたり旧上対馬町及び対馬市の人権擁護委員として活躍した古藤朋子さんが3月31日付けで退任されました。多年にわたる人権擁護及び人権思想の普及高揚につくされた功績に対し5月8日、法務大臣より感謝状が贈呈されました。

火災の初期消火に当たった4名を表彰
上県町佐須奈の住民



表彰された4名
右から小茂田穰さん、佐護藤子さん、渡辺貞子さん、園部千晶さん

2月26日午後5時半頃、上県町佐須奈で発生した建物火災で、消防団と協力して初期消火にあたった小茂田穰さん、佐護藤子さん、渡辺貞子さん、園部千晶さんの4名に、対馬市消防本部から感謝状が贈られました。

出火に気づいた4名は、ただちに消防団員と連携して消火栓からホースを延長するなど消火活動を開始。迅速な対応により建物の全焼を防ぎ、住宅が密集する現場で近隣家屋への延焼を食い止めました。

99歳（白寿）おめでとうございます。

めでたく99歳を迎えられた市内の3名の方に、対馬市から敬老祝い金を添えて褒状が贈られました。みなさんとても元気で幸せそうで「理想の老後像」として、今後も元気で長生きしてください。

豊後 ツルさん
厳原町久根浜
明治42年5月10日生



現在、峰町の特別養護老人ホーム「丸山」を利用されています。当日は職員や他の利用者から「ツルさんおめでとう」と祝福を受けると、「皆さんありがとうございます」と、とても嬉しそうに答えていました。

長生きの秘訣を尋ねると「特別なことは何もないです。いつの間にかこの年になりました」と元気に話しました。おだやかに過ごすことが長生きの秘訣のようです。

松本 テルさん
美津島町小船越
明治42年5月15日生



現在、厳原町の介護老人保健施設「つしま彩光園」を利用されています。テレビで時代劇や大相撲を見るのが楽しみだと話していました。

お子さんは男女4人ずつの8人で、長生きの秘訣を聞くと「元気なときは山や畑仕事をして、ご飯も好き嫌い無く食べとった。大病もしたことがない。そいやけ言うち、長生きのためには何もしとらんよ」と笑顔で話していました。

糸瀬 渉さん
厳原町宮谷
明治42年5月27日生



上対馬町五根緒出身で、現在厳原の自宅にお住まいです。毎日、デイサービスセンター「おふなえ」に通って、利用者の皆さんとレクリエーションなどで楽しく過ごしているそうです。お子さんは7人で、孫19人、ひ孫28人に恵まれました。

若い頃からたばこは吸わず、お酒もお付き合い程度だそうで、長生きの秘訣を聞かれると「私は甘党でね。黒砂糖を食べたら長生きしますよ」と話していました。